



田辺英蔵記念ボランティアキャプテンアワード

障がい者セーリングボランティアに顕著な活動をした方を顕彰。業績を讃え表彰式では記念品と田辺英蔵先生の陶芸品等を進呈。候補者を公募し、田辺英蔵記念ボランティアキャプテンアワード実行委員会にて選考し表彰する。

田辺英蔵 1927年-2019年

我が国で障がい者セーリング開始から心物両面でご支援をいただきました。

1963年、日本初のダイビング用ヨット「蒼竜」を建造。1990年からは地中海マジョルカ島をベースに44フィートのケッチ型ヨット“アイシス”を購入、地中海をクルージングした。

舵誌に長年掲載されたキャビン夜話は昭和世代のヨット乗りのバイブルでした。



田辺英蔵記念受賞者

第1回(2009年度)	里見 公義
第2回(2010年度)	松下 兼昭
第3回(2011年度)	小川 正夫
第4回(2012年度)	岩本 達也
第5回(2013年度)	石津 基行
第6回(2014年度)	佐藤 元泰
第7回(2015年度)	表彰辞退
第8回(2016年度)	該当者なし
第9回(2017年度)	宮田 典男
第10回(2018年度)	林 義則
第11回(2019年度)	金子 哲三

(コロナ禍にて表彰式が中止となり、蒲郡パラセーリングベースキャンプにおいて、鈴木寿明蒲郡市長をプレゼンタータに迎え記念品の進呈となりました)

